



むら か み じゅん じょう

村上純文県議会レポート

発行／自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

浸水対策事業の遂行を

習志野市谷津地区



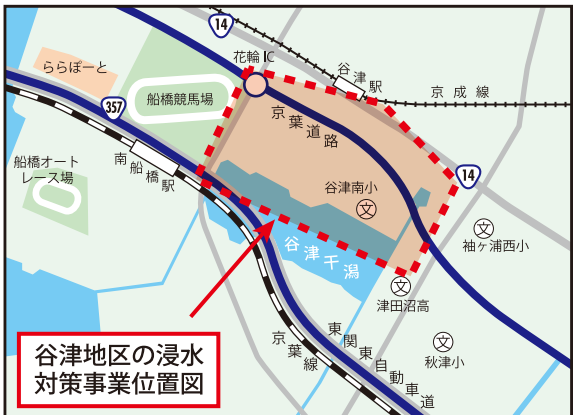
予算委員会で県の施策を質問する村上純文県議

習志野市特集

住民が安心して住める街づくりに全力で取り組んでいる村上純文県議は、2月定例県議会予算委員会で発言を求め、ふるさと習志野市の浸水対策事業や道路整備事業について県の施策や方針を質しました。また、2月

県議会予算委員会

村上議員 習志野市谷津地区の浸水対策事業についてうかがう。この事業は千葉県と習志野市で、今まで合同の勉強会が7回実施され、その中で、習志野市の2級河川流域に係る谷津地区浸水対策の県、市一体施行に関する基本協定が締結されている。



予定が、実施設計の委託が25年12月に完了したことで、大幅な事業費の増加があり、25年度の工事の発注は見送られた。そこで、26年度においてこの事業の予算が確保されているのかをうかがう。

鉄道施設の耐震化支援

予算に補助金計上

村上議員 鉄道施設耐震化対策事業補助についてうかがう。県では、平成26年度当初予算において、新規で鉄道施設耐震化対策事業補助が計上されているが、どのような事業なのか。交通計画課長 国が、首都直

下地震などの大規模地震に備え、鉄道施設の耐震化支援策を平成26年度から拡充したことを受け、県としても、国や沿線市と協調して高架橋等の耐震化補助を行うことといたしました。平成26年度当初予算案では、所要の補助額として約2700万円を計上したところで

河川整備課長 谷津地区の浸水対策事業については、県と習志野市が一体となって下水道と河川の水門の整備を進めているところです。平成26年度は、谷津三丁目、厩舎脇の水路で逆流防止ゲートと排水ポンプの工事を実施する予定です。

県としては、市が実施する浸水対策事業が進むよう、予算の確保に努めてまいります。村上議員 全体の事業の完成は28年度とのことだが、具体的にこの事業が今後、どう進められるかをうかがう。河川整備課長 県としては、習志野市の事業計画に支障が無いよう、支援してまいります。

耐震診断に助成へ 村上議員 特定建築物に対する補助制度についてうかがう。被災時に活用すべき地域防災拠点にもなりうる学校、ホテル、百貨店などの特定建築物に対して、耐震化率向上の為に、補助制度を拡充させる必要があると考えるがどうか。建築指導課長 県では平成18年から、戸建住宅以外の建築物の耐震診断につ

村上純文プロフィール

- 経歴
 - 昭和37年12月生まれ 習志野市立大久保小、同市立第二中、千葉日本大学第一高、拓殖大学政経学部卒
 - 平成元年 衆議院議員秘書
 - 平成7年4月 習志野市議会議員初当選(3期連続当選)
 - 平成18年5月 習志野市議会副議長
 - 平成23年4月 県議会議員初当選
- 現職
 - 県議会 環境生活警察常任委員会副委員長
 - 自民党県連 青年局青年部常任幹事広報委員長

大雪による帰宅困難者 県庁内に600人受け入れ

村上議員 2月の記録的な大雪で、成田国際空港では海外旅行者が足止め状態になった。県内の鉄道の各路線も遅延や運休が相次いだために、深夜に多くの県民が帰宅困難者という事態に至った。そうかかろうがこの大雪により発生した帰宅困難者への対応はどのようなものであったか。

防災政策課長 2月8日から9日の大雪により、千葉駅をはじめ県内の主要駅



県担当者の答弁を聞く村上純丈県議

県としては千葉市や鉄道事業者等と連携を図りながら帰宅困難者への対応を進め、県庁舎に約600人を受け入れたところだ。

村上議員

約3千人の帰宅者が、県と千葉市の連携で寒さに凍えることなく、無事に帰ることが出来た。これはまさしく、先の震災の教訓が生かされた例だと思ふ。しかしながら、30年以内に首都直下型

で多くの帰宅困難者が発生しました。

型地震が発生するという予測もある。この首都直下型

地震の被害想定では1都4県で640万人から800万人の帰宅困難者が発生するとの推計もあるが、今後どのように帰宅困難者対策を進めていくのかをうかがう。

防災危機管理部長

これまで、市町村や鉄道事業者等から構成される駅周辺帰宅困難者対策協議会が千葉葛南地域の駅を中心に7つ

重要な高速道路の雪対策

村上議員 高速道路の通行止めが約3日間続いた。物流ラインを確保する上でも、高速道路の雪対策は肝要と考えられるが、今回の教訓の対策はあるのか。

県土整備部長 今回の災害の特徴を申し上げますと、普段雪が少ない地域において大量の降雪があったこと、ドライバーの冬タイヤ等、装備が雪国と違って不十分

であったことなどがあげられます。一方、道路管理者としても課題があり、今回の経験をもふまえ、除雪対策として、早い段階での通行止めの実施、ドライバーへの適切な情報の提供、除雪体制の強化などについて、国や高速道路を管理する高速道路会社で検討を進めていると承知しております。

東習志野実叡線 27年度末に供用へ

村上議員 平成9年度から事業が開始されている「都市計画道路3・3・1号東習志野実叡線」について、平成26年度の事業内容はどうか。

道路整備課長 東習志野実叡線は、京成電鉄本線との踏切による渋滞解消を図るため、600区間で立体交差事業を進めており、片側2車線を先行整備することとしております。

これまでに、鉄道交差部のボックス工事や、地盤改良工事を実施してきたこととしております。

村上議員 「都市計画道路3・3・3号藤崎茜浜線」

るであり、平成26年度には取付区間において、擁壁などの工事を行ってまいります。

再質問 **村上議員** この道路は用地進捗率97%、工事進捗率68%と進んできており、供用開始の見通しが見えてきたかどうか。

道路整備課長 現道と近接する擁壁工事などが円滑に進めば、平成27年度末の供用が図られるものと考えております。

藤崎茜浜線で バイパス整備

村上議員 「都市計画道路3・3・3号藤崎茜浜線」

について、平成26年度の事業内容はどうか。

道路整備課長 藤崎茜浜線につきましては、習志野市役所周辺の交通渋滞の解消を図るため、JR総武線と京成電鉄本線を跨ぐ橋梁部を含む、習志野市鷺沼台地区の600区間について、バイパス整備を進めているところだ。

現在、用地の取得状況は面積ベースで、91パーセントとなっており平成26年度は引き続き、残る用地の取得に努めるとともに、工事用進入路の整備を行います。

実叡交差点 改良へ用地取得

村上議員 「県道千葉鎌ケ谷松戸線」の実叡交差点改良の進捗状況はどうか。

道路環境課長 実叡交差点については、交通渋滞の緩和を図るため、平成21年度から交差点改良を実施しているところだ。

現在、用地進捗率は50パーセントであり、来年度も引き続き、地元関係者の協力を得ながら、用地の取得を進め、事業の進捗を図ってまいります。

円が必要になると見込んでおります。

このため、新たに「県有施設長寿命化等推進基金」を設置し、必要な一般財源の2分の1程度の355億円を、2月補正予算案に計上しているところで

習志野市通過の 3幹線道路整備

事業内容など質問

村上議員 習志野市内を通過する幹線道路3本の整備は、習志野市内の慢性的な渋滞解消や歩行者の安全確保に大きく寄与するものであり、その進捗状況は地域住民にとっても大きな関

心事であることは言うまでもない。この3本の幹線道路整備が、26年度の予算にどう反映されているのかをうかがう。

まず、平成24年度に事業化の決定がされた「都市計

画道路3・3・15号美浜長作町線」について、平成26年度の事業内容はどうか。

道路整備課長

美浜長作町線については、渋滞緩和と歩行者などの安全確保を図るため、長作交差点の前後800区間につきまして、昨年度、事業化したところだ。

これまで、詳細設計、用地測量及び物件調査を進めてきたところであり、引き続き、

地元関係者の協力を得ながら、残る用地測量や物件調査を進めるとともに、用地取得に努めてまいります。

村上議員 長作交差点に

おいては、武石インター方面から進行してくる車両に対して、渋滞緩和対策の為に整備計画はどうなっているのか。

道路整備課長 長作交差点につきましては、交差する県道長沼船橋線も含め、4方向それぞれに右折レーンを設置するとともに、両側に歩道を設置することと

老朽県施設の長寿命化 10年間で700億円必要

村上議員 2000棟・350万平方メートルの県有施設の80%以上が20年を経過している。施設の建替えや大規模修繕が必要だが、財

源の確保はどうか。

管財課長

老朽化した施設の長寿命化対策を推進していくためには、国庫補助等を活用しても、一般財源ベースで、今後10年間に約700億